

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 食事、排泄、午睡、園外保育等標準が保てるように保育室に手順書を掲示している。計画的に園内研修を行っている。			
	【課題・対策】 経営者層と現場の意識の相違が生じないようにさらに精度を上げていく必要がある。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 個別に成長発達記録を作成し、それに基づいて保護者との面談を行っている。園専属の臨床心理士による巡回で気になる子の援助の仕方など確認し、個別支援計画の作成をしている。また、個別の状況については会議等で共有して、園全体で把握している。			
	【課題・対策】 ご家庭との連携をより円滑にし、より過ごしやすい環境作りをするために更なる話し合いや研修を実施していく。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	B	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 個々の成長に応じた保育を行っていると共にイベントでの縦割り保育や朝夕の合同保育を通してクラスの垣根を越えて、職員全員ですべての園児の状態を把握できるようにしている。			
	【課題・対策】 遊びこめる環境づくりをしているが、更なる改善をする為に話し合いや研修を実施していく。子ども達が活動しやすい導線や手洗い場の使用の工夫をしていく必要がある。			
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 昼礼やミーティングノート、クラス報告において日々共有し、また園会議などで報告している。週案、ミーティングノート、個人別月案(0ー2歳)、発達成長記録、園会議議事録			
	【課題・対策】			

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 園内研修、行政主体の外部研修、児童虐待対応マニュアルの実施、港北区子ども家庭支援課のへの連絡、連携臨床心理士の巡回を実施。フィードバックを全体に周知し共有している。 日頃より連携を密にとり、必要に応じて面談を行っている。アレルギー児にはわかりやすい写真付きの食札等使い工夫している。 【課題・対策】 虐待が実際に起きてしまうと疑われる情報を得た場合に備えて、研修会等に参加して、正確な判断ができるようにする。 アナフィラキシー症状が出てしまった時の対応方法等いざという時にスムーズに行動できるよう。研修等を定期的に行っていく。			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 苦情が出た時すぐに改善できるように苦情受付マニュアルや社内、園内で話し合う環境を整えている。 普段から保護者の方が、話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができているか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 園内研修や、外部研修に参加し日々の保育に活かしている。 都度、課題に対して全体で話し合いを実施、振り返り、見直しを行っている。 【課題・対策】 主体的に遊べるように玩具の工夫はしているが、自由に玩具を選択しより遊び込める環境作りを行っていく。			
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 「大きな家族」という保育理念の通り、各ご家庭と情報交換(個人面談等)を行いながら園児ひとりひとりを受け止め、保護者、保育スタッフ、給食スタッフなど、園全体でより良い環境を目指し保育を行っている。 離乳食については進める段階でご自宅の進み具合を確認し、都度面談し、進めている。また、入園時にアレルギーの有無を確認するようにしている。アレルギー園児の保護者へ月毎の食材表を配布し、さらに前日に「持ち込み食」の確認を行っている。子どもにとって身近な絵本から、関連するメニューを決める「物語メニュー」は、子どもの食への関心を高めるのに、とても良い試みとなっている。 自分達で栽培し、調理することで苦手な野菜を食べるきっかけになった。また栽培していない学年も給食に入れてもらうことで身近に食の感謝も体験することができている。 【課題・対策】 家庭でも食育に対して意識を高めて頂けるような取り組みを更に充実させる必要がある。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 嘱託医に年に二度、健康診断を依頼し、個々の様子を診てもらっている。病気についての研修や救命救急の研修を給食スタッフも含め全スタッフが受けている。 日頃より子どもの様子を丁寧に観察。受け入れ時の視診や保護者との連携に努めている。午睡後に体温を測定している。 感染症が出た場合には配信や掲示を通して保護者の方に周知している。 【課題・対策】		
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 アルコールや次亜塩素酸ナトリウム希釈液を使用し玩具や保育用具等消毒を徹底している。 嘔吐処理の研修を行い実践できるようにしている。 給食時には専用のエプロン・三角巾にし清潔なもので介助を行っている。 【課題・対策】 毎日、消毒・清掃を徹底しているが、より一層の感染予防に留意していく。		
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるような話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 事故の振り返りシートやヒヤリハットを作成し、再発防止に取り組んでいる。 軽微なかてであっても連絡・報告・相談を徹底している 園外保育時は人数確認カードを使い、項目にあわせ随時人数確認を行っている。園内・園外共に緊急時に連絡が直ぐに出来るように各クラス携帯電話を所持している。 園バスの昇降時には人数確認を徹底している。 【課題・対策】 大きな事故は起きていないが今後も起こさない為に、より一層意識を高めていく。		
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 こどもの権利・人権について園内研修を行い個々の尊厳を尊重する関わりができるようにしている。おむつ替えの際には他児から見えないよう囲いの中で行っている。着替えの際、内部が見えないようパーテーションを立てている。 【課題・対策】 職員同士が気軽に声を掛け合い協力できる雰囲気や環境づくりをしていく。		
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1～2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 行事に参加頂き、保護者と保育園スタッフとの信頼関係を強めている。行事ごとに保護者アンケートにご協力いただきご意見を集約し、反映させている。 日々、コミュニケーションを取り保護者が話しやすい雰囲気作りをしている。 コドモンや写真を有効活用し、ドキュメンテーションや掲示などで丁寧に子どもの姿を伝えている。 【課題・対策】		

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日（要予約）を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようにしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 子育て支援事業のつなしま園広場を月1回行い、イベントの中で育児相談も行っている。 園見学を少人数制にし、悩みや相談に大して丁寧に対応している。		
		【課題・対策】		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 見学会を毎週行い、大勢の見学者の方が来園してくださっている。月1回のつなしま園広場で保育園での遊び体験、親子体操、絵本の読み聞かせ等を行っている。 保育園の情報を積極的に公開し、ホームページは毎月更新し、最新の情報提供を行っている 夏祭りなどの行事に招待し、参加して頂いている。近隣の畑で芋ほりをさせて頂いたり、グループホームへの慰問を行っている。		
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 今年度は実習生の希望者は居なかったが、夏祭りではボランティアの学生を受け入れ参加して頂いた。		
		【課題・対策】 今後も希望者があった場合には受け入れる体制を整えていく。		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 年2回のスタッフ面談を通して健康・ストレスや就業状況を確認している。 ミーティングノートに元気を記入することにより個人の体調を全員のスタッフに周知することができている。 園内研修の他、行政主導の研修やキャリアアップ研修に参加させて頂き、園会議や研修報告書等で報告している。 スタッフの昼休み時にクラスや役職の垣根を越え会話の中から経験年数の少ない職員も意見や考えを伝えやすい環境をつくり情報交換等コミュニケーションをとっている。		
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 研修項目を分担し職員が研修でアウトプットしていくことで知識や技術をより確実なものにしていくよう取り組んでいる。 指導計画書と振り返りのシートがセットになっておりその都度記入し提出する仕組みになっている。また日々の振り返りの時間を設け各クラスで行っている。		
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 個人情報とは事務所内のみで閲覧するようにしている。 断じて個人情報の漏えいが起こらないよう、裏紙は使用しないようにしている。		
		【課題・対策】		
園目標や自己評価結果に対する反省・課題（事業報告書へ）		子ども達が毎日の保育園生活を楽しくするような「わくわくする保育」を意識し行うことが出来た。以前よりも子ども達が主体性を持って活動出来る場面が増えたが、より子ども達や職員の主体性をもった保育が実施できることが課題となる。 本園・分園の垣根を越えた保育を目標に掲げ、意識はしてきたが、本園・分園と拠点が離れている為、互いのコミュニケーションの取りづらさによる情報の共有の仕方に課題が残っている。次年度以降もコミュニケーションの取り方を工夫し、情報の共有を密にすることでずれ違いの無いようにしていく。		